



2026年4月6日

各位

会社名 株式会社ラキール
代表者名 代表取締役社長 久保 努
(コード番号: 4074 東証グロース)
問合せ先 取締役副社長 松本 英晴
(TEL. 03-6441-3850)

中期経営計画「LaKeel 2030」の策定に関するお知らせ

株式会社ラキールは、「誰からも期待され、信頼され、愛される人（企業）へ」という経営理念のもと、自社の成長と継続性を経営の最も重要な課題と捉え、社会に貢献することを目指しています。「AI×人」の協働による変革を推進する「AX企業」へと進化し、持続的な成長を遂げるため、中期経営計画（2026年12月期～2030年12月期）「LaKeel 2030」を策定しましたので、以下の通りお知らせいたします。

なお、同時に公表いたしました添付資料に詳細を記載しておりますので、併せてご参照ください。

I. 策定方針

日本企業を取り巻く事業環境は、生産年齢人口の減少により従来の労働集約型の業務モデルが限界を迎える一方、人的資本の戦略的活用が企業の持続的成長における重要な経営課題となっています。さらに、AIの進化に伴い、企業のDX化やクラウド移行などのシステムモダナイゼーションへの投資が本格化しています。

2026年度からの本計画では、こうした環境変化を成長機会と捉え、AIへの積極投資を実行することで、当社は「業務×データ×AIプラットフォーム」企業（AX企業）を目指します。当社の取り組みはAI活用による業務の自律化を目指すものですが、これによってお客様の業務の生産性を飛躍的に高め、貴重な人材を戦略的業務へシフトすることを支援します。

II. 計画の概要

当社は、2030年を一つのマイルストーンとし、AIの機能開発にリソースを集中投下することで、人事業務およびシステム開発の自律化を実現します。

具体的には、2026年から2030年までの期間を3つのフェーズに分割します。2026年から2027年を「業務の効率化」、2028年から2029年を「業務の自動化」、2030年を「業務の自律化」を実現する期間としてそれぞれを位置づけ、以下の戦略に基づき各種施策を実行していきます。

III. 具体的施策

1. 製品戦略

(1) LaKeel HRのAIエージェント化

人事業務の現場作業の約5割を占める「見えない業務（マイクロタスク）」を自律化するため、3層のAIエージェント（Decision、Process、Microtask）を実装します。これにより、2030年には全人事業務（提供機能）のAI化率80%を目指し、使うほどに成長する「AI人事プラットフォーム」へと進化させます。

(2) LaKeel AI Platformによるシステム構築の自動化

要件定義・設計（上流工程）から開発（下流工程）、品質保証、運用に至る全工程をAI エージェント群で統合し、自律化します。既存のソフトウェア部品をAI が理解し、新たなビジネス要件を自律的に組み上げることで開発期間を70%短縮し、「IT をゼロから作る」時代を終わらせることを目指します。

2. 営業・マーケティング戦略

顧客基盤の拡大とARRの最大化を目的として、AI デモを武器にしたPoC（概念実証）の獲得を推進します。また、営業組織を「新規開拓」「プリセールス」「既存拡大」「CS（カスタマーサクセス）」の4チームに分業化し、持続的なARR（年次経常収益）の積み上げサイクルを構築・最適化します。

3. 人事・組織戦略

全社員がAIを駆使し高い生産性を発揮するAIハイブリッド人材化を推進します。AI人材の採用・育成を最優先課題と位置づけ、各拠点の採用等を強化することで、強固な開発体制を構築します。また、AI倫理やデータガバナンスに対応したガイドラインの策定など、AX企業として実効性のある監督と機動的な意思決定を両立する体制を構築します。

IV. 財務目標・株主還元

1. 成長に向けた積極的な投資計画

持続的な成長に向けたAI関連投資等は、主に本計画期間中に創出される営業キャッシュ・フローを原資としますが、資本効率の向上やM&Aに備え、有利子負債の活用や外部資金調達も柔軟に検討します。

具体的な投資配分としては、LaKeel製品の開発に約50億円を投じるほか、労働環境の整備、営業体制・開発拠点の拡充、AIハイブリッド人材の育成・採用等を優先事項として進めてまいります。

2. 収益・財務目標、株主還元方針

(1) 収益・財務目標

2030年度に向けて、下記の財務指標の達成を目指します。

項目	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
売上高	80億円	100億円	125億円	160億円	200億円
営業利益	6億円	10億円	15億円	20億円	30億円
売上高営業利益率	7.5%	10.0%	12.0%	12.5%	15.0%
ROE	10.0%	14.8%	18.8%	19.8%	21.2%

(2) 株主還元方針

成長投資との適切なバランスを追求するキャッシュ・アロケーションの方針に基づき、自己株式の取得等を通じた株主還元を実施してまいります。

以 上